

であい
ふれあい
まなびあい

水谷公民館からのお知らせ

TEL049-251-1129



※下記の講座は、全て参加費無料です。

「はじめてのスマホ教室」

初心者の方のためのスマホ講座です。お気軽にご参加いただけます。

とき/10月1日(水) ①午前の部 ②午後の部
時間/①午前10時~12時 ②午後1時30分~3時30分
講師/スマホアドバイザー(SoftBankより派遣)

内容/①初めてのスマホ体験
②スマホの基本とLINE体験

定員/①・②それぞれ10名(先着順)
申込期間/①・②とも、9月25日(月)午前9時~10月6日(金)午後5時
申込方法/水谷公民館の窓口または電話で応募してください。



子育てサロン

① おはなし会

絵本の読み聞かせや手遊びを楽しもう!

協力/読み聞かせボランティア『あいあい』
とき/10月4日(水)午前10時30分~午前11時
定員/親子8組(申込順)
申込/9月20日(水)午前9時~9月29日(金)午後5時
右のコードより、お申し込みください。→

0歳から参加
できます!



② 親子フレンドパーク

工作や体操、紙芝居などを親子で楽しみましょう!
子育て相談や仲間づくりなど、お気軽にご参加ください。
とき/10月10日(火)午前10時30分~11時30分
定員/親子5組(申込順)
申込/9月25日(月)午前9時~10月6日(金)午後5時
右のコードより、お申し込みください。→

今月は
「ハロウィンバック
をつくろう」です。



お母さんのステップアップ講座 保育付き

③ パッチワーク ~ 私だけのクリスマスツリー ~

初めてでも大丈夫!みんなで楽しくつくりましょう!

とき/10月18日(水)午前10時~11時30分
講師/レモンスター(公民館利用サークル)
定員/12組(※保育は上限12名)(申込順)
参加費/500円(材料代)
持ち物(保育の場合)/着替え、おむつ、飲み物
申込/10月2日(月)午前9時~10月11日(水)午後5時



右のコードより、
お申し込みください。→



第38回文化祭を開催します!

これまで、水谷文化祭は11月の第2土・日曜日に開催していましたが、今年は、作品展示を11月6日(月)から12日(日)までの開催とし、舞台発表と模擬店等を11日(土)・12日(日)に開催します。詳細につきましては、公民館だより11月号をご覧ください。

個人作品を募集します

水谷文化祭をより「地域の文化祭」とするため、今年は、絵画、書、写真などの個人作品を募集し、展示します。詳細につきましては、公民館までお問い合わせください。

公民館の利用について

【令和6年1月の予約の流れ】

内容	日にち
①抽選申込期間	10月15日(日)~31日(土)
②コンピューターによる自動抽選	11月1日(水)
③抽選結果の確認	11月1日(水)~5日(日)
④窓口受付開始	11月6日(月)
⑤インターネット仮予約受付	11月7日(火)

※休館日 令和5年10月16日(月) 第3月曜日

水谷地区の人口 (令和5年8月31日現在)

水谷地域の人口 34,260人(+33人) 世帯数 16,453(+44)
()内の数字は前月比

編集委員のつぶやき

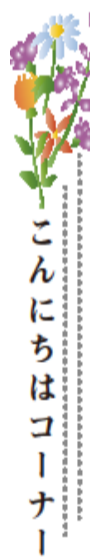
水谷公民館に入ると「絵てがみペンぱる」さんの作品が来館者を迎えてくれます。サークルメンバーが一丸となって作り上げた季節ごとの大作。来館者を和ませてくれます。

一方で、入り口の左側にある展示ケースに目をやると「縄文時代の文化の奥深さを見よ!」とでも言っているように、土器たちが鎮座しています。この縄文土器、単に縄目を付けているだけではありません。縄のより方にも種類があるようで(この辺は研究者に任せましょう)一般の人にとっては、縄の模様が付いていたり、猪の顔が付いていたりして使い勝手は悪そうですが興味をそそられます。このような縄文土器の複製は専門家に任せて、素人が縄文人になったつもりで土器を作るのも楽しいかも知れません。水子貝塚資料館に問い合わせると良いアドバイスがもらえると思います。

今年の文化芸術の秋は何か始めてみませんか。思い立ったその時が始めの時です。私も趣味でやっている習い事があるのですが、10年早く始めていれば...と後悔しています。

編集委員 佐々木真理子

地域は子どもたちと共に



みずほ台小地区社協子ども部会の福祉委員になって10年程が経ちます。下校時の見守りが年間を通しての活動ですが、例年夏休みには「体験教室」を開催してきました。コロナ禍での自粛のあと今年も念願の再開を!公民館で活動されている「オリベの会」さんに陶芸を、「絵てがみペンぱる」さんに絵てがみをご指導いただきました。他にも、部員たちで知恵を出し合い、廃材の段ボールでコマを作ったり、松ぼっくりにデコレーションしてツリーにしたり、ビーズを組み合わせて個性的なブレットなどを作つ



令和5年 体験教室の様子

みずほ台小地区社協協議会
こども部会 部長 大槻節子

たり。中には親子連れもいて、とても真剣にかつ楽しそうにチャレンジしてくれました。家庭・家族があり、学校があり指導してくださる先生方や共に学び遊ぶ友達・仲間がいて、加えてご近所・地域で見守るおじさんおばさんたちがいてくれることが、子どもたちの日々にはとても大切なことだと考えています。そのような環境の中で安心して健やかに成長してほしいと願って21人の仲間たちと活動しています。

私を含め部会の高齢化率は高く、子どもたちのおいちゃんおばあちゃん世代の部員がほとんどですが、この地域も新しい住宅が増え核家族が進む今、子どもたちの成長には異世代交流もまた大切で「捨てたもんじゃなかな」と頑張っています。ただ、子どもたちのニーズが図りにくく出来れば若い世代も仲間ほしいところです。